



## MM教育の普及に向けて

【筑波大学 教授 唐木清志】

「モビリティ・マネジメント教育のすすめ：持続可能な社会のための交通環境学習」の改訂版が完成しました。これまで使用してきた同名タイトルのパンフレットは、2010年度に作成されたものです。以後10年を超えてそのパンフレットを活用し、エコモ財団では多くの自治体及び学校・教員への支援活動を展開してきました。大変興味深い教育活動が、MM教育（交通環境学習）の名の下に展開されていることを、実践に関する報告書より毎年確認しています。

この10年間に、日本社会にも、学校教育にも大きな変化がありました。日本社会であれば、東日本大震災や新型コロナウイルス感染拡大、学校教育現場であれば、新学習指導要領の告示及び完全実施などです。これらの変化に、MM教育も対応が求められています。交通や環境を巡る新しい取り組みを視野に入れ、大きく変わる学校教育でどのようなMM教育を実践できるのか。このパンフレットが有効に活用され、これまで以上に多くの自治体や学校・教室で充実した教育実践が展開されることを期待しています。

改訂版パンフレットの特徴は、学校・教員の教育実践を豊富に紹介しているところです。取り上げた実践例は、小中高のすべての校種、普通学校だけでなく特別支援学校、さらには、これまで数多く実践されてきた社会科や総合的な学習（探究）の時間だけでなく多様な教科における実践と多岐にわたります。パンフレットを手にとられた方が、「このような教育実践であれば、私にもできる」と思えるように工夫をしました。MM教育は特別な教育実践ではなく、日常の学校教育活動の中にすでに存在しているものであり、エコモ財団の支援を受けて教育活動を展開すれば、今ある教育実践をさらに充実させることができるとぜひお考えください。もちろん、交通や環境の枠組みで、新たな教育実践を展開したいと考えている方の申請も大歓迎です。

まだまだ十分に普及しているとは言えないMM教育が、この先の10年で、大きく成長していくことを願ってやみません。

※「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」は下記からダウンロードできます

[http://mm-education.jp/pdf/mm\\_catalogue2304.pdf](http://mm-education.jp/pdf/mm_catalogue2304.pdf)